

平成29年4月16日
今週のベストショット



青松園A 三苦ホーネッツ 対 新町ウインズ戦

九番隈崎選手が左中間にHRを放つなど、どこからでも点が取れる驚異のホーネッツ打線。

写真：レッドサンデーズ 古賀 開

青松園A 三苦ホーネッツ打線爆発で開幕2連勝

三苦ホーネッツ (2勝) 5 3 0 3 2 1 3 川原○-広木

新町ウインズ (1勝1敗) 1 0 0 0 1 2 藤田●-今林

HR：矢野(雅) 2、広木、隈崎(三苦ホ) 泉(太) 藤田(新町ウ)

前日の雨によりグラウンド状況が心配される中、初戦勝ち星同士の激アツな展開が予想される試合が始まった。三苦ホーネッツ先攻、新町ウインズ後攻。試合は初回から動いた。一回表ホーネッツは、ウインズ先発藤田投手の立ち上がりを見逃さず、連続四球で満塁とすると、六番矢野(雅)選手の満塁ホームランなどで5点を先制。対してウインズはその裏、前試合から絶好調の泉太一選手が甘く入った高めの球を見逃さず先頭打者HRを放ち1点を返すが、その後凡退。二回表には三苦ホーネッツ四番広木選手が2ランHRを放つなどして追加点。三苦ホーネッツは先発・川原投手のリズムの良い投球で回を重ねていく。四回表、先ほど満塁ホームランを放った六番矢野(雅)選手がソロHR、九番隈崎選手の2ランHRを放ち着実に点を重ねる。五回表には矢野(雅)選手のタイムリーヒットなどで2点を追加。五回裏ウインズは六番藤田選手が意地のソロHRを放つが、1点しか入らず五回コールド。三苦ホーネッツの安定した守備と爆発的な攻撃が見えた試合となった。

(記事・写真：レッドサンデーズ 古賀 開)



一回表 満塁HRを放つ矢野（雅）選手。



一回裏 先頭打者HRを放った泉太一選手。



三苦ホーネッツ先発の川原投手。



新町ウインズ先発の藤田投手。



二回表 2ランを放ち祝福される広木選手。



四回表 2ランを放ち全力ガッツポーズの隈崎選手。



五回裏 意地のソロHRを放つ藤田投手。



五回裏 センター前にクリーンヒットを放った野中選手。

奈多グラウンド 三苦フレンズ山口投手、圧巻17奪三振！

三苦フレンズ (1勝) 0111100 4 山口○ー佐藤(由)

奈多フェニックス (1敗) 0000010 1 松本●ー今林(英)

3BH: 生野(拓)、山口(三苦フ) 2BH: 岩井(奈多ク)

ともに今季初戦の両チーム、気持ちが逸るのか、6時51分に三苦フレンズの先行で試合開始となった。奈多フェニックス先発は松本投手。四球こそ与えたものの、フレンズー・二・四番を三振に抑える上々のスタート。フレンズの先発山口投手も失策のランナーを出したものの、全て三振で切って取る会心の立ち上がり。両投手とも球威十分でネット裏はスコア記載が楽になるのでは、との淡い期待を寄せる。しかし早くも均衡が崩れたのは二回表。フレンズの山口選手が初安打で出塁。犠打で二進すると、失策で三進し、八番松尾選手がチェンジアップに泳がされながらもセンター前に運び先取点をもぎ取った。球威に押されていただけに、抜いた球を運ばれた事にフェニックスには悔いが残ったのではないだろうか。先制点を得たフレンズは、三回にも三塁打の生野(拓)選手が失策で生還し、続く四回にも敵失を絡めて3点目を奪う。更に五回には内野安打で出塁した佐藤(由)選手を、山口選手が三塁打で迎え入れ、大きな4点目を追加した。勢いに乗る相手を追撃したいフェニックスだが、山口投手のコントロールされ、且つ球威十分の速球とライズ、時折見せるチェンジアップに苦戦する。鋭い振りを見せるが、四回の五番今林(真)選手の痛打も左翼正面と安打が出ない。五回終了時点で12三振を喫していたが、六回裏に先頭の高原選手がセンター前へ打ち返すとチームが息を吹き返した。三番山村選手が右中間を破り1点を返す。好投の山口投手にも疲労の色が漂い、反撃の機運も盛り上がったが、後続が続かず、最終七回裏も三者三振で試合終了を迎えた。失策が全て失点に絡んだフェニックスには苦い記憶の試合となったが、フレンズにとっては先制殊勲打の松尾選手、2安打3盗塁の生野(拓)選手、17奪三振で1失点完投の山口投手と収穫の多い試合となった。(記事: 塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真: 岩崎光洋)



三回表、三塁打を放つフレンズ生野選手。



ヒットかと思いきやライトゴロ！寺山選手。



激走で3点目奪取の寺山選手！



六回表追撃打を放つフェニックス三番山村選手。



六回表、反撃のホームインか？高原選手。



左から好投の山口投手、好打の生野拓磨選手・殊勲打の松尾選手。

青松園B 投打のかみ合った三球会に軍配！

ソルトベスターズ（2敗） 1 0 0 0 0 0 1 黒崎●、中村（耕）一大門

三苦三球会 （1勝1敗） 1 2 1 3 0 × 7 吉留○、鮎川一藤澤

2BH：石井、大門（ソルト） **盗塁**：吉田（ソルト）大津、嶽崎×3、堺（太）（三球会）

ソルトベスターズは一回表、一死から二番石井選手の左中間への二塁打で好機を演出すると、続く三番大門選手の右前安打で1点を先取る。幸先良く先制点を奪ったかに思われたが、一回裏二死二塁から捕逸で走者を三塁に進めてしまうと、暴投によりあっさり同点に追いつかれてしまう。三球会は初回こそ無安打で得点を挙げたものの、二回以降は毎回安打を記録し四回終了時、全て単打で7得点を挙げる。一方、ソルトベスターズは二回以降も走者は出すものの得点が挙げられず三球会先発の吉留投手に封じられる。三球会は四回より鮎川投手を二番手して送ると3イニングを投げ、無安打無失点の好投を見せる。好投手2人の好投と、連打による得点で逃げ切りに成功した三球会が試合を制した。（記事・写真：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭）



三回 1 失点の好投、三球会先発の吉留投手。



ソルトベスターズ先発の黒崎投手。



二回表、盗塁を決めるソルト吉田選手。



四回裏、先頭打者で安打を放つ三球会一番濱口選手。



一回表、先制の適時右前打を放つソルト三番大門選手。



四回裏、適時打を放つ三球会五番塚（太）選手。



三回を無安打無失点の好投。三球会二番手鮎川投手。



四回裏、6点目のホームを踏む代打で出場した衰原選手。



六回表、ソルト中村（耕）選手のバットは空を切る。

雁レクD 昨年度覇者！強さを見せつける圧勝！！

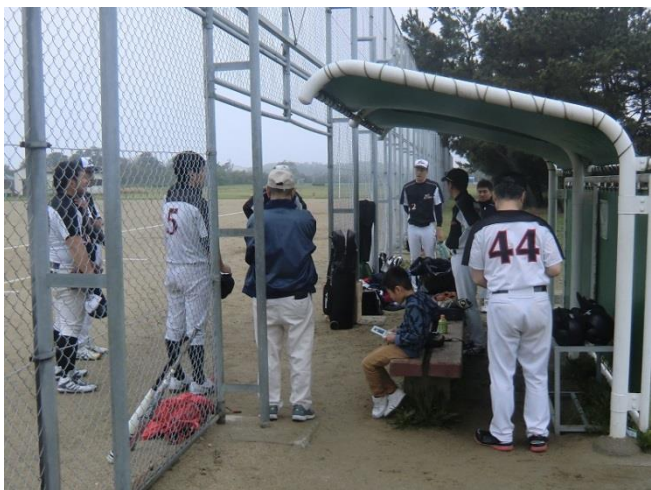
新町パイレーツ（1敗）00000 0 吉田●-安田

奈多クラブ （1勝）22051× 10 今林（瑠）○-安河内

HR：安河内2、上野、今林（瑠）（奈多ク） 2BH：高瀬（奈多ク）長倉（新町パ）

昨年度覇者奈多クラブ対昨年度本調子ではなかった新町パイレーツとの開幕戦今林瑠生投手対吉田投手のエース対決で試合開始。新町パイレーツはメンバーが集まらず、当初9人ぎりぎりにて開始。しかしパイレーツ一回表、一番長倉選手の鮮やかなセンター前ヒット、続く二番小林選手もショート内野安打、さらには監督兼選手の白岩選手が技ありファースト前内野安打と続き無死満塁のチャンス。制球の定まらない今林（瑠）投手を攻め

立てる。しかしここは流石の優勝投手、落ち着いて後続を三者凡退に抑えた。その裏、奈多クラブは、二番今林（賢）選手のピッチャー前ゴロを吉田投手が一塁悪送球にて出塁を許し、さらに悪送球にてランナーは三塁まで進む。迎えた四番上野選手は見事に右中間へホームランを放ち、2点先制！先制点をもたらした今林（瑠）投手は、二回以降は三振ダッシュにて9個の三振を奪う安定したピッチング！二回以降の奈多クラブは、徐々に力をみせつけ、女房役の安河内選手が特大ホームランを2本叩き込み、さらには、バッティングにも定評のある今林（瑠）投手も、四回裏にホームランを放ち、最後は五回裏コールドゲームを決める、記録上はヒットになったがこの日2本目となるホームラン制の当たりにて試合を締めくくった！！パイレーツは初回の満塁からの得点ができなかったこととエラーからの失点が悔やまれる試合となったが、奈多クラブ打線は、吉田投手のカウントを取りにくるボールを逃さず、芯で当てにくる打撃力は流石としかいいようがなかった。今年も奈多クラブは連覇に向けての戦いがはじまった。（記事・写真：ブルーマーリンズ 末松勝祝）



新町パイレーツ 試合開始前MTG。



一回表、パイレーツ一番長倉選手の鮮やかなセンター前。



一回表、三番白岩選手の技あり内野安打！



一回裏、奈多クラブ四番上野選手先制の2ラン！



二回裏、女房役安河内選手の特大ホームラン！



五回裏、奈多クラブ新加入、鹿実出身の住田選手！



今林（瑠）選手の鮮やかなホームラン。



パイレーツのデスパイネ！安田選手の豪快なスイング！



本日のヒーロー：HRトリオ！左から上野選手、今林瑠生選手、安河内選手！

第3週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第3週、4月16日は4試合が行われました。

青松園Aの三苦ホーネッツ対新町ウインズ戦は、初回ウインズ藤田投手の立ち上がりの不安定さを見逃さないホーネッツ打線。矢野雅隆選手の満塁HRなどで5点を挙げると、攻撃の手を休めず、二回表には四番広木選手、四回表には矢野雅隆選手の2本目、九番隈崎選手のHRなどで終わってみれば怒濤の13得点。ウインズは初回到泉太一選手の2試合連発の先頭打者HRと藤田選手のHRの2本がやっと。13-2でホーネッツが圧勝した。どこからでも点が取れるホーネッツ打線。抑え込める投手はいるのか？

奈多グラウンドの三苦フレンズ対奈多フェニックス戦は、昨年の準優勝チームフェニックスに3月の藤本杯で2連覇したフレンズの山口投手がどこまで投げるかに注目された。山口投手はその剛腕でなんとフェニックスか

ら21アウト中17アウトを三振で奪う離れ業。フレンズは1点は失ったものの、8安打で4点を取り4-1で勝利。これでフレンズも勝ち癖がついていけば、一気に優勝もあるかもしれない。

青松園Bのソルトベイズ対三苦三球会戦は、初回幸先よく点を挙げたソルトだが、その裏簡単に追いつかせてしまうと、連打を重ねる三球会が13安打で7得点。三球会二番手の鮎川投手(20)が三回を見事に無安打に抑え、1-7で三球会の勝利。

雁レクDの新町パイレーツ対奈多クラブ戦は、奈多クラブ今林瑠生投手は初回三連打で無死満塁のピンチを背負うもここを無失点で乗り切るとエンジン全開。五回を無失点に抑えると、打っては3安打1HR。奈多クラブ四番上野選手、六番安河内選手の2本のHRなど12安打で0-10の五回コールドゲームで勝利。連覇に向けて危なげないスタートを切った。

開幕から3週が経ち、今シーズンの明暗がくっきり分かれた結果が多い。

下剋上を期待したくなるのは編集部長の性(さが)でしょうか？